

神子虐

AFTER



DOJIN

R18

成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止

日の光が入らぬ洞窟の中では
どれほどの時が過ぎたのかまるでわからぬ

おおおッ♡

ほぎゅ♡

んえ♡

ただひたすらに
獣のように喘ぎ、潮を吹く

ビクッ♡

ん

ん

ん

ん

ん

ん





自分たちが満足するまで
妾を犯し尽くし

身体の穴という穴を
汚れた子種が満たしていく...

ふぐう

ジュウ

んげん

ビク

グッ

グッ

グッ

あう

グッ

グッ

んああ

ジュウ

ジュウ

ん

グッ

グッ

ひとしきり犯し終え
潰された虫のように倒れる
妾の姿を見て、笑いながら
食事をするヤツらの姿を
目に映しながら気を失う





肉棒を突き立てられ
絶頂しながら目を覚ます

ほお♡

ビクン♡

ビクン♡

この繰り返し...

おっお♡

ズグッ♡

ズグッ♡

ズグッ♡

んん♡

ズグッ♡

ひぎゅ♡

あぐ♡

ズグッ♡

初めはヤツらの食事の回数などから
日数を計っておったのじゃが...

こやつらは飽きという言葉を知らぬのか
毎日同じように妾を犯す

永遠と思えるほど犯し続けられる日々…
次第に感覚がおかしくなっていく

んぐうッ♡

ズボッ♡

コエー♡

ギム♡

ズボッ♡

ズボッ♡

おおお♡

ズボッ♡

ズボッ♡

ズボッ♡

んぐうッ♡

いつの間にか数えるのを
やめておった…

何より無様なのは

あの男たちに散々
弄られたこの肉体じゃ...

おっおっ

ゴクゴク

何百、何千と犯されてもなお
快楽に身を震わせ、歓喜の潮を吹く

おっおっ

パキパキ

んほおッ



拘束具がなくとも
歩く振動だけで絶頂する



逃げる事など到底かなわぬ…

Zida

Ya

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡



気が付くとヤツらに跨り
腰を振っていた

フッ♡

フッ♡

ぶいっ

ズンッ♡

ズンッ♡

ズンッ♡

海乱鬼たちの調教に耐え、
ヒルチャールの凌辱にも耐え続けていた
妾の精神が限界を迎えようとしておるのか…

はああ♡

あは♡



んぶッ♡

段々と頭の中が
こヤツらとの交尾の
快楽で染まっていく

シヨッ♡

シヨッ♡

シヨッ♡

おぶっ♡

シヨッ♡

シヨッ♡

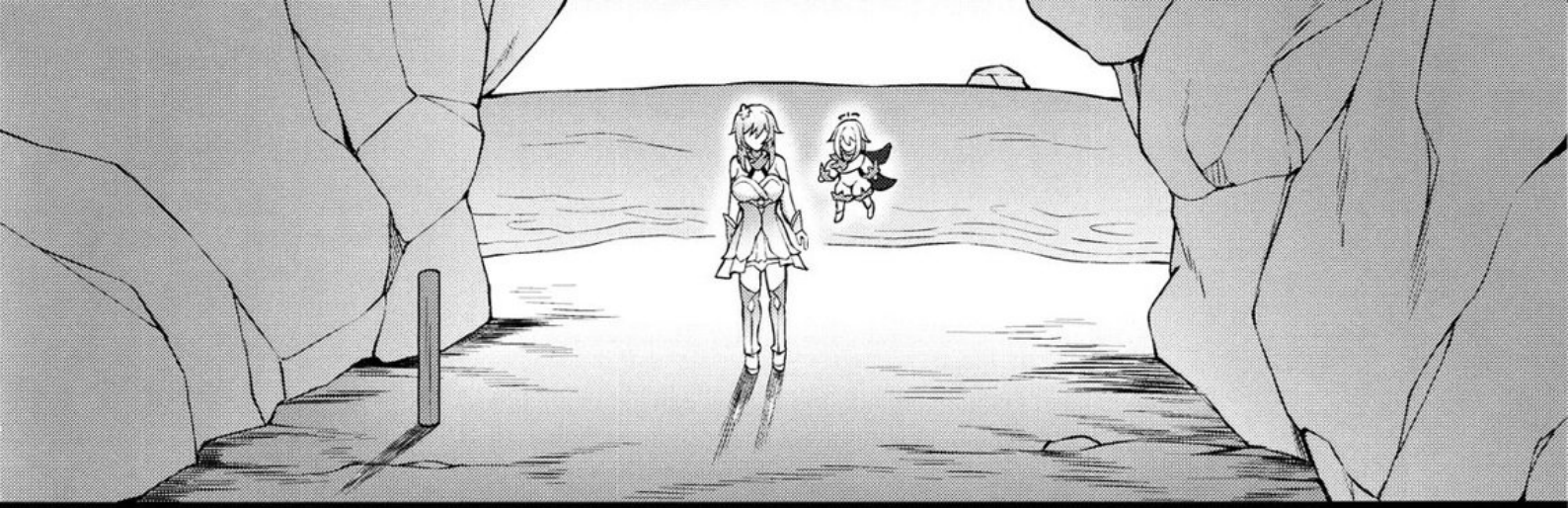


この醜く汚らわしいケダモノの子を
孕みたいと子宮が疼く…♡
嫌悪感が無くなっていき、愛おしく思えてくる♡



妻が妾でなくなっていく…
誰が…助け…







別にビビってる
わけじゃないぞっ！

ほらっ
心海が合いたって
手紙でも言ってたし

わかったよ
洞窟には入らない

ほんとかあ!?



それじゃ早く
行こうぜ！



旅人っ！

はいはい



.....
オオオツ♡

ンホオツ♡

【とある冒険者の日記】

私は冒険者協会の依頼をこなしながら
テイワット大陸を旅している冒険者だ。
今回の依頼内容は人里離れた洞窟から
聞こえてくる奇妙な鳴き声の調査だ。
フライムとヒルチャールしか生息記録が
無い地域なので、戦闘能力が高くはない
私でも一人でこなせる内容だろう。
そう思い、隠れながら洞窟を進んでいく。

洞窟の奥底で松明の明かりを見つけた。
ヒルチャールの集落のようだがアレが
例の鳴き声の正体ようだ。

ンモツ ♡

オオオ ♡

ンホツ ♡

付近のヒルチャールの警戒心が強く
近くで確認はできないが、あれは
女型のヒルチャールと呼べばよいのか…

最初は捕らえられた村娘か冒険者かと思っただ、そんな考えはすぐに消え失せた。

ンオオオツ

オホ

遠目からでもわかるあまりに大きく、醜い乳に、獣のような喘ぎ声……。どう見たってアレは人ではない。

ンホツ

ンホオオウ オオツ

ホオオ

もっと近くで観察しようと近づこうとした時、ヤツらに見つかってしまった。

モオオ

アツ

大勢で追いかけてまわされ、洞窟の外まで逃げるとヤツらはもう追ってはこなかった。



後日腕の立つ冒険者を連れ、洞窟の探索に行ったが、
ヒルチャールの集落は移動したようで無くなっていった。
一月ほど探してもあの女型ヒルチャールは見つからなかった

これ以上はモラが減るだけだ。
そう判断し、次の国へ向かう支度をする。
きっとあれは幻か何かだったのだろう…

—奥付—

♥著者	OKASIRA
♥発行日	2023年12月31日 コミックマーケット103
♥発行	へんたいゑむぶれむ
♥印刷	(株)ニチゲン アミーゴ
♥連絡先	y_mukurro@yahoo.co.jp

無断転載及び複製、アップロードを禁止します。